

【外環事業】事前調査について（家屋調査・路面下空洞調査）

2026年1月
武蔵野市 都市整備部 まちづくり推進課

現在、関越自動車道から東名高速道路までの約16kmをトンネルでつなぐ事業を、国土交通省、東日本高速道路（株）、中日本高速道路（株）が共同で進めています。

武蔵野市内においても、大深度地下（地下40m以深）をシールド工法により掘削し、本線トンネルが構築されます。

トンネル工事は、事業者により細心の注意を払って進めておりますが、万が一地上の建物や工作物に損害等が生じた場合に対応するため、工事施工前の建物等の状況を把握することを目的に、家屋調査が実施されます。また、シールドマシン掘進前後で道路の路面下に空洞がないか確認するため、路面下空洞調査も実施されます。

TOPIC

家屋調査について

■調査の目的

工事は細心の注意を払って進められていますが、万が一、建物や工作物に損害等が発生し、工事に起因するものと確認された場合には、当該損害等に対して事業者より**補償をさせていただくため、工事施工前の建物等の状況を把握**するものです。

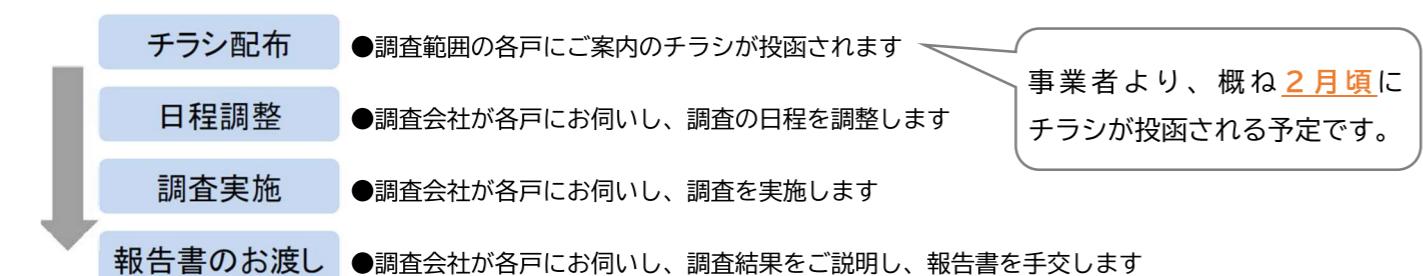
■調査の対象範囲

平成27年度以降、沿線にお住まいの方を対象に事業者が家屋調査を実施しておりますが、今後、調査範囲内にお住まいの下記の方を対象に改めて家屋調査が実施されます。

※家屋事前調査をお受けいただくかは任意です。

- ✓ 今まで調査未実施で新たに調査をご希望される方
- ✓ ご自宅を新築された方
- ✓ ご自宅の建替えやリフォームをされた方
- ✓ 再度の調査を希望される方（過去に実施した調査結果については今後も有効なものとして取扱われますが、再度の調査をご希望される方）

■調査の進め方



■調査箇所

- ◆基礎 ◆軸部（柱・敷居） ◆開口部（建具等） ◆床 ◆天井 ◆内壁 ◆外壁
- ◆屋根 ◆水回り（浴槽、台所、洗面所等） ◆外構（屋外工作物） ◆井戸、地下室の状況

- ・家具等の移動は行わず、目視で確認できる範囲を調査します。
- ・所要時間は、3時間～半日程度（一般的な家屋の場合）です。
- ・調査の内容は、建物の柱の傾斜、壁や基礎のひび割れ状況等をスケッチや写真及び調書において、記録します。



Q&A

よくある質問（家屋調査について）

Q 家屋事前調査はいつまでに実施する必要があるか。

A 家屋事前調査はトンネル工事の通過前に実施されます。

調査可能な時期については、事業者が所有者と調整させていただきます。

Q 家屋等に損傷が出た場合の補償はどのようにされるのか。

A 工事により建物等に損害等が生じた場合は、その原状回復に要する費用を負担する等、適切に事業者が対応します。

Q 家屋等に損傷が出た場合の補償にあたり、トンネル工事の施工に起因するかどうかの判断はどのように行うのか。

A 家屋調査の実施時期に関わらず、事前調査と事後調査の結果を比較し、掘進時の施工データや地表面変位、振動、地下水位等の客観的指標を踏まえ、有識者にも確認の上、工事の施工に起因するか事業者が総合的に判断されます。

Q 家屋事前調査対象範囲外の建物等に損害等が生じた場合はどうなるのか。

A 事前の家屋調査の対象範囲外の箇所についても、被害の申し出により、建物等の損害等が確認され、工事との因果関係が認められる場合には、必要な家屋調査を行い原状回復に要する費用を負担する等、適切に対応することとされています。

Q 家屋調査の対象範囲外でも近傍であれば希望したら家屋調査は受けられるのか。

A 調査を希望するお問い合わせがあれば、個別に事情をお伺いし、事業者が丁寧に対応いたします。

外環事業シールドトンネル工事の状況等に関する主なご質問とその回答（令和7年11月28日時点）を市にて一部加筆
https://tokyo-gaikan-project.com/news/pdf/shiryou_17.pdf

家屋調査に関するお問い合わせ先

NEXCO 東日本 関東支社 東京外環工事事務所

TEL : 0120-861-305 (フリーコール：受付時間平日 9:00～17:30)

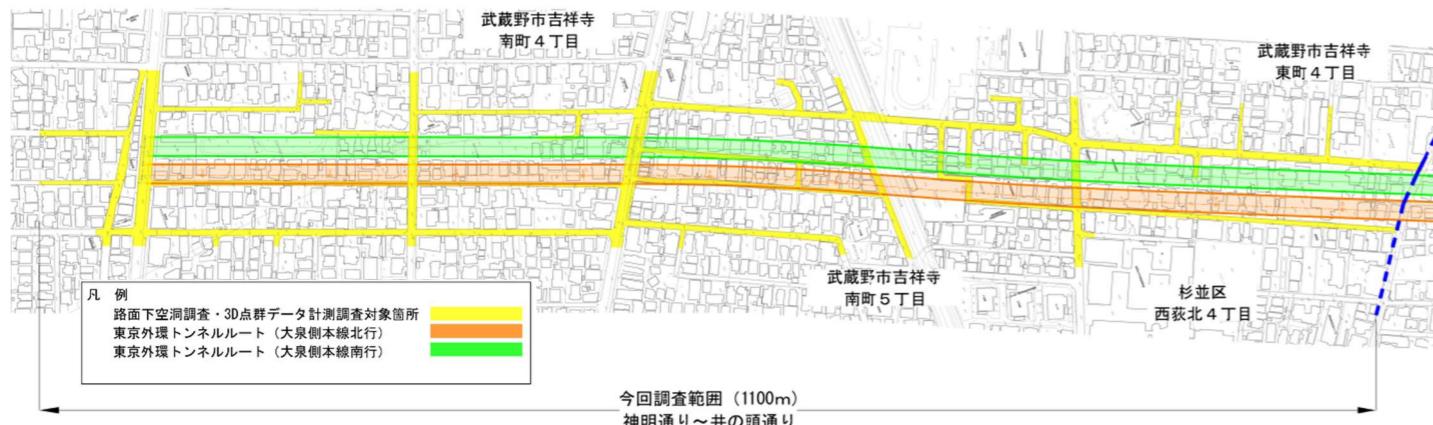
e-mail : tokyo-gaikan@e-nexco.co.jp

TOPIC

路面下空洞調査について

■調査の目的、調査対象範囲

路面下の空洞発生状況を把握するため、シールドマシン掘進作業の前後で公道（武蔵野市管理の私道も含む）を対象に空洞探査車等を用いた調査を実施します。



■調査方法

車道部については、地中レーダーを搭載した専用の空洞探査車から、歩道部や狭隘部については小型探査機より、電磁波を地中に放射し、その反射波をとらえ、地表下1.5m程度までの地下にある空洞を調査することで、直ちに陥没に至るような差し迫った空洞の有無を調査します。空洞が発見された場合は、道路管理者に報告の上で、必要な対応を適切に実施します。



路面下空洞調査（車道部）



路面下空洞調査（歩道部）

NEWS

市公式LINEで外環事業に関する情報をお届けします！【新たな取り組み】

武蔵野市公式LINEに「東京外環」のページを開設し、皆様に情報をお届けしています。

市公式LINEの友達登録と受信設定をお願いします。

受信設定をして頂いた方には、外環に関する市からのお知らせが届きます。
(市公式LINEの東京外環タブより「受信設定」をお願いします)

Q&A

よくある質問（路面下空洞調査について）

Q 公道だけでなく私道も路面下空洞調査を実施してほしい。

A 路面下空洞調査は原則公道での調査とされておりますが、武蔵野市では私道の一部を市で管理しているため、事業者と調整を行い、市で管理している私道や認定外道路について、調査対象に加えるよう対象路線の見直しを行いました。

Q 路面下空洞調査の結果は公表しないのか。

A 事業者で実施した路面下空洞調査の結果は、調査を行った道路等の管理者に報告の上で、必要な対応を適切に行います。

Q 路面下空洞調査では、振動や騒音が発生するのか。

A 路面下空洞調査は、電磁波を地中に放射した際の反射波により地中の状況を調査するため、振動や騒音の発生はありませんが、異常箇所について道路管理者により、補修工事等を実施する場合は、振動騒音が発生する可能性がございます。

工事施工前には、道路管理者よりチラシ等でお知らせいたします。

外環事業シールドトンネル工事の状況等に関する主なご質問とその回答（令和7年11月28日時点）を市にて一部加筆
https://tokyo-gaikan-project.com/news/pdf/shiryoub_17.pdf

外環事業に関するお問い合わせ先

■平日・日中のお問い合わせ

事業についての疑問点などは以下までご連絡下さい。いずれの連絡先でも構いません。

○国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 0120-34-1491（フリーダイヤル）

○NEXCO 東日本 関東支社 東京外環工事事務所 0120-861-305（フリーコール）

○NEXCO 中日本 東京支社 東京工事事務所 0120-016-285（フリーコール）

その他についてのお問い合わせは以下までご連絡下さい。

○武蔵野市都市整備部まちづくり推進課 0422-60-1872（平日8:30～17:15）

■土日・夜間のお問い合わせ

○24時間工事情報受付ダイヤル 03-6904-5886



二次元コードまたはLINEアプリのホーム画面から「武蔵野市」または「@musashinocity」を検索

